

花はな



令和3年度 本田小学校学校だより
学校評価について 令和3年10月21日
 TEL 058-326-3417 FAX 326-7752
 本田小HP <http://edu-mizuho.com/honden>

前期学校評価についての報告

秋冷の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
 さて、9月に実施しました前期の学校評価については、356名（88.6%）の保護者の皆様方から回答をいただきました。ご多用の中、ありがとうございました。

学校の指導に対して、肯定的なご意見やご指摘等をいただきありがとうございました。また、保護者の皆様の温かい励ましのお言葉に、職員一同、子供に寄り添いながら教育活動を進めていこうと気持ちを新たにしましたところです。

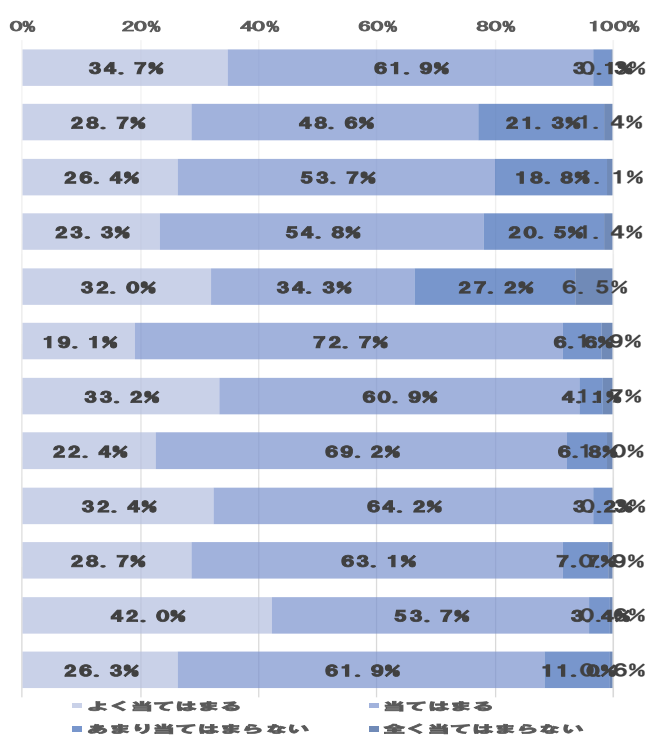
以下に、数値結果と、記入していただいたご意見を中心に、現在の学校の取組や今後の指導について説明します。この結果を生かし、今後も、保護者や地域の皆様方のお力添えをいただきながら、「みつけ たすけあい やりぬく子」を目指して、全職員で取り組んでまいります。



本校の取組について

項 目	
1	学校は、学校の教育目標（みつけ たすけあい やりぬく子）の具現を目指し、職員一丸となって取り組んでいる。
2	お子さんは、進んで挨拶をすることができる。
3	お子さんは、人の話をしっかりと聴くことができる。
4	お子さんは、自分の考えをもち、話すことができる。
5	お子さんは、読書に親しみ、読書の習慣が身についている。
6	学校は、どの子にとっても「わかる・できる」授業をしている。
7	学校は、子供のよいところを認め、励ます指導で、子供のやる気を喚起している。
8	学校は、不登校やいじめの未然防止や早期発見に取り組む、子供の自己肯定感を高めるよう指導している。
9	学校は「すてきみつけ」「ボランティア活動」「道徳の授業」等を通して、心を育てる指導をしている。
10	学校は、学校便り・ホームページ・家庭への連絡等、開かれた学校を目指して取り組んでいる。
11	学校は、感染症対策や危機管理等、児童が安全・安心な学校生活ができるよう取り組んでいる。
12	家庭では、我が子の家庭学習を見届け、子供の自学自習の力が付くように子供に関わっている。

数値結果（数値は%）



今回の学校評価では、「コロナ禍であっても、工夫した行事や取組があり子供は楽しく登校している」といううれしいお言葉を多くいただきました。また、数値結果を見ると、「感染症対策や危機管理等、安全・安心な学校生活ができるよう取り組んでいる」や「すてきみつけ」やボランティア活動を通して心を育てる指導をしている」という項目に、「よく当てはまる」「当てはまる」と答えていただいた保護者が、90%を超えました。これ

は、このコロナ禍で、学校が行っている感染症対策や本校がこれまで道徳教育を柱に心を育てる学びを積み重ねてきた結果であるにとらえています。一方、子供が、「進んで挨拶する」ことや「人の話をしっかり聴いたり、自分の考えを話したりする」こと、「読書の習慣が身についている」ことが、不十分であると感じているとご指摘を受けました。こうしたことについて、学校としても、特に重点的に進めてまいります、ご家庭での声かけや習慣化にご協力をお願いいたします。



《全体から》

- ・学校に行く機会（授業参観など、学校行事）が、中止や延期になり、先生や学校の様子が伝わりにくいというご意見をいただきました。参観等楽しみにしてくださっている保護者の皆様には、延期や中止が続き、大変ご迷惑をおかけしています。また、今月末の予定の授業参観は、時間を限定しての参観となりますが、ぜひお越しいただき、お子様の学校での様子をご覧ください。
- ・今年度は、感染症の拡大状況を踏まえつつ、学年での校外学習の実施時期を設定しています。緊急事態宣言解除後のこの10月には、いくつかの学年で校外学習も実施できました。子供たちの学びを広げる機会が増えていることで、学校としては、昨年度と比べいろいろなことが可能になっているととらえ、喜んでいるところです。

《学級・学習にかかわって》

- ・子供の努力を認めたり、保護者の気持ちに寄り添って、いろいろなことに対応していただいたりしているとのお言葉を多くいただきました。しかし一方で、学校側の対応や教師の指導方法、学級によってタブレット端末の活用する機会が異なること等について、ご指摘やご心配とのご意見もありました。学校や学年での方針をはっきりさせ、子供たちが安心して学校に登校し、力をつけていくことができるように進めていきたいと思えます。
- ・夏休みの宝物について、「学級内で発表しただけで持ち帰ってきた。子供たちだけでも全校のみんなが、どのようなものに取り組み、がんばったかを見ることができるとよかったと思う」とのご意見をいただきました。子供たちの頑張りを認め合う機会を工夫・改善してまいります。

《生活にかかわって》

- ・登下校の際や出会ったときに挨拶の声が少なかったり、先生がいるときといないときでは挨拶する態度が違ったりするとのご指摘をいただきました。アンケート結果からも「進んで挨拶をする」という項目は、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答いただいた保護者が20%を越えました。このことについては、学校としても挨拶の意義を確認しながら「相手に届く挨拶をする」ことの良さを価値付け広げながら指導を進めています。MSK委員会や執行委員会は昼の放送で、気持ちのよい朝の子供たちの挨拶の様子を紹介しています。子供たちが、誰に対しても進んで挨拶ができるようになるために、ご家庭や地域とも一緒になって進めていく必要があります。ご家庭での声かけをどうぞよろしくお願いいたします。
- ・昨年度と今年度では、学校でのコロナ対策が異なっているのではないかとのご意見をいただきました。学校のコロナ対策は、国のガイドラインや県及び市の方針に従って行っています。こうしたガイドラインをもとに、感染状況を踏まえつつ、学校内での対策を講じています。昨年度は、8月の登校もあり、感染症対策に加えて熱中症にも配慮しながらの対応でした。今後も、コロナの感染状況によって、対策の方法を慎重に判断しながら変えることもあるかと思いますが、子供たちの安全・安心な学校生活を守っていくために努力してまいります。



学校は、保護者や地域の皆様と気持ちを同じくして、子供たちを支え、力を付けて伸ばすために今後も進めていきます。よろしくお願いいたします。